

労資懇談會

一一〇

わが九州聯合會第五回年次大會で自主的労働組合法即時制定要求の件が決議され、その實行方法に於て、資本家團体へ健質なる労働組合を理解させるために勞資懇談會の開催が規定された。この點については協調會が多年これの實現を極力奔走してゐたのであつたが、種々の困難なる事情のため、實現が出来なかつたのであつた。わが九州聯合會の大會決議は協調會のこの意圖に強力なる拍車を入れ、日本の全産業の大動脈を占める福岡縣下での種の會合を開催することは複雑多難な日本の勞資關係に一劃期を入れ、更に日本の全産業の將來に一つの光明を灯じる最も有意義なる催しになり得ると確信した協調會の熱誠なる奔走に依つて遂に四月三日、福岡縣廳小會議室に於て縣知事、工場課長、特高課長、事業主側より浅野スレート、製鐵所安川電機、岡部鐵工所、渡邊鐵工所、お多福織、労働組合側より個人の資格にて總同盟、海員組合、官勞同志會並に主催者側より吉田協調會常務理事、町田勞働課長が出席し、全國に對けて勞資懇談會が開催された。

北九州の資本家はこの會合を極めて重大視した。この種の會合で労働組合の幹部と出席することは労働組合を公認した結果となり、この會合を通じて労働組合の要求提出を危惧し、更にこの會合の懇談會内容を他日の言質に曝露されることを懸念したのがこの會合に缺席した資本家の主要な原因であつた。出席事業主は労働組合に對して理解があつたが兎に角労働組合とは三百代言式の恐喝常習者のようなものであるから接近しないが最も良い策であるとへて考るけれども、この會合を通じて健質なる労働組合の本質に接觸して、却つて事業主側よりこの種の會合の意義を認め、繼續的にこの會合が開催されることを熱心に希望してゐた。協調會も亦この會合を重大視した。全國に對けて開催されるこの會合が若しも失敗するようことがあれば、わが國に於いて労資の懇談會を開くことを絶望にする前例を作るの、協調會はこの會合の成功に全力を盡して豫期以上の成果を收めたことは同慶に堪へない。

七月一十日、福岡縣教育會館で第二回の勞資懇談會が開かれた。主催者協調會が全力的に奔走してゐたので、前回より事業主側の出席者が十人位は増加する豫想であつたが、その豫想は全く裏切られ、案内券を出してゐない事業主までが出席して、北九州の代表的事業主は悉く出席した。四月三日の懇談會の内容は社會的には發表されなかつたが、北九州の資本の全

神經はこの會合に集注され、前回の會合の内容、收況を傳へ聞いて、労働組合危險觀の傾向から轉向して、労働組合に異常な興味と關心を持つに至つたことが、この豫期以上の盛會の主因であつた。縣廳側からも縣知事、警察部長、特高課長が出席し、協調會側も常務理事、労働課長、教務課長がばかり、労働組合側からは總同盟、海員組合、港灣組合、製鐵勞働、同儕會が列席した。懇談は健質なる労働組合と會社組合との問題が中心に置かれたが労働組合に理解ある資本家は沈黙し、労働組合排撃派が發言してゐた一般には資本家の發言が渺なかつたので主催者側は尙々苦勞してゐた様であつた。この會合に出席した事業主は悉くこの會合の有意義を自認し、水續的な開會を強く希望し、將來は勞資關係の具体的な問題に就き、労資双方より眞意な意見を開陳し、日本の産業の將來に對する一つの針路を見出し得るような會合に完成したいと云ふ力強い希望や意見を懷かせることができた。

この會合に依つて、實際運動上の質果は別に收め得なかつたけれども、この會合を通じて、健質なる労働組合主義を資本家に理解せしめ資本家の理解と信賴の上に新しく産業をして總同盟精神に即した健全なる組織運動を効果的に展開する基礎工作としての收穫は充分であつたと確信する。この會合を通じて實際運動の上に最も有効なる分野を持つのは總同盟である。將來も九州に於ける指導的な代表的な労働組合として、この會合を支持し、この會合を通じて健質なる労働組合主義を徹底せしめて、總同盟の實際運動の上に顯著なる質果を收めねばならぬ。

日本労働組合會議に關する報告

日本労働組合會議加盟團體の陣容

一、日本海員組合

組合員數
支 部 數

九六、七六九

組 合 長
副 組 合 長
所 在 地

濱田國太郎
堺内長榮
神戸市海岸通三ノ二六